

No.175

TOPICS

- 議長新年の挨拶・今年の抱負
- 議会改革の取り組み
- 今後の議会改革
- 一般質問
- 知名町議会定例会議決結果
- 諸般の報告

5
12 11 10 4 3 2

あなたと議会を結ぶ 議会だより





新年の挨拶

知名町議会議長
外山利章

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2025年、巳年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。昨年は、議会活動へのご理解、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。さて、巳年は、古来より「再生」と「成長」を象徴する年とされており、これは、蛇が脱皮を繰り返して成長していく姿に由来しております。本町においても、これまでの努力と成果を基盤に、新たな一歩を踏み出す一年にしたいと存じます。

昨年は知名町の新たなシンボルとして新庁舎が完成し、町の歴史に新たな1ページを刻む重要な年となりました。この新庁舎を拠点に、町民一人ひとりがより安心して暮らせる住みよい環境を実現するため、引き続き全力を尽くしてまいります。

議会においては、昨年の改選により5名の新人議員を迎え、新たな体制での運営がスタートしました。議長として、これまでの議会改革を継承しつつ、さらなる透明性と効率性の向上を目指してまいります。本年は特に、議会改革における8つの取り組み事項を、議員協力のもと進めることを目標に掲げています。

その中でも、議員定数および報酬に関する議論は、町民生活に直結する極めて重要なテーマです。慎重かつ丁寧に議論を進め、町民の皆さまのご意見を反映しながら結論を導いてまいります。

また、町民の皆さまの声を政策提言に反映させる取り組みも2期目を迎えます。これまでの政策提言書の実現に向けたフォローアップを進めると共に、議員間討議や資質向上を目的とした研修を通じて、政策提言の質の向上を図って参ります。

蛇が脱皮を重ね成長するように、私たちも現状に甘んじることなく、常に新たな挑戦と変革を追及して参ります。本年も、議会と行政が一体となり、町民一人ひとりが安心して暮らせる日常と、豊かで希望に満ちた地域社会の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

結びに、2025年が町民の皆さまにとって健康で実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の抱負

田尻議員	初心を忘れず町民の声を大事にし、今年も頑張つてまいります。
長山議員	地域を歩く、とにかく歩く。 町民の声に耳を傾け、形となるよう努力する。
原崎議員	町民の皆様と共に幸福感の高い知名町を目指し、勇往邁進したいと考えております。よろしくお願ひいたします。
西吉議員	新人議員として新年を迎えるにあたり、町民の声を町政に取り上げ、町発展に尽力します。頑張ります。
高風議員	活力ある地域社会づくりを進めていけるよう町民の声を聞き、取り組んで参ります。
福川議員	地域の活性化と子育て環境の充実に向け、挑戦を続けます。
窪田議員	農業・漁業・商工業に観光業を加えて経済の好循環を目指して住民の福祉向上にのぞむ。
根釜議員	ホスピタリティ向上に向けて町民と取り組んでいく。
西文議員	町民の声をしっかりと受け止め、全世代の想いが政策に反映されるよう、取り組む1年にしたいと思います。
福井議員	町民の皆様の幸福度向上・幸福を真から実感できる、心豊かな活力と潤いに満ちた町づくりに寄与していきます。
川畑副議長	これから特に、人口減少が進む中で、高齢化社会において介護福祉の充実、安心して過ごせる施策が必要である。

議会改革の取り組み

知名町議会では議論の質を高め、町民から信頼され、町民の負託に応える議会を目指し令和4年4月に議会改革推進会議を設置しました。青森大学の佐藤淳教授や公益財団法人日本生産性本部のご協力をいただきながら、議会改革に取り組んで参りました。

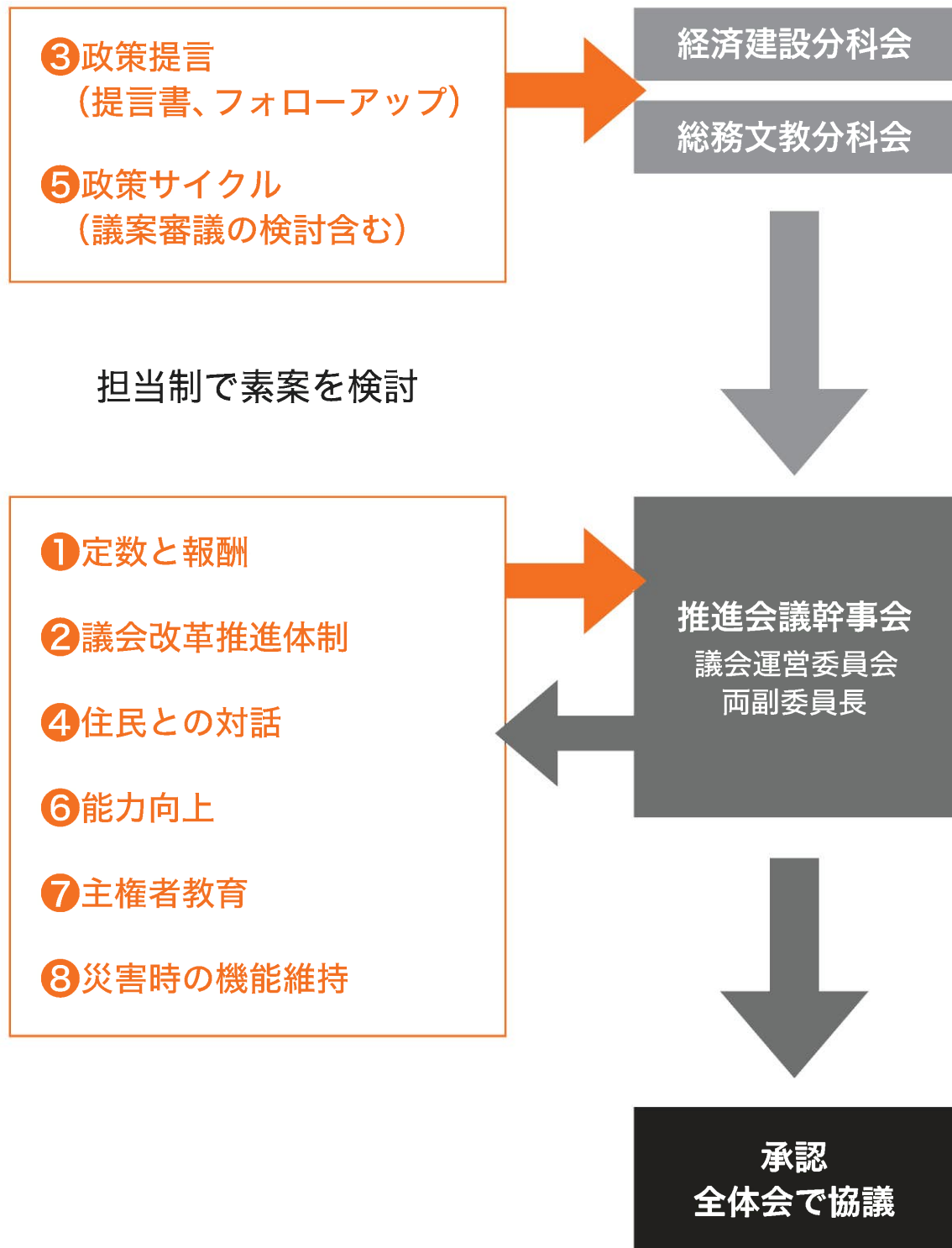
議会改革の歩み(抜粋)

令和	月	項目	内容・目的	出席者
元年	12	全員協議会	議会改革推進会議設置の提案	全議員
3年	3	全員協議会	議会改革推進会議設置の提案	全議員
	8	地方議会評価モデルについての説明会	地方議会評価モデル勉強会	日本生産性本部
	8	議会評価モデルによる評価の実施	議会の現状把握	知名町議会
	11	政策サイクルについての勉強会	議会からの政策サイクルの意義と動向	大正大学 江藤教授
	1 ↓ 2	商工会青年部・女性部、 地域女性団体連絡協議会との意見交換	町民意見の聴取と住民との対話の演習	
4年	4	議会改革推進会議の立ち上げ	議会基本条例に基づき議会改革に継続的に取り組むため	
	5	議会改革キックオフミーティング	議会改革の取り組みを再認識すると共に対外的なPRを行う	
		町民との意見交換会(ワールドカフェ)	未来の知名町について構想し、取り組みたい町の総合振興計画のアクションプランを選定する	日本生産性本部、 佐藤教授
	11	議会勉強会	委員会活動を通じた議会による政策作りに向けて	日本生産性本部
5年	5	政策サイクル推進地方議会フォーラム出席	事例発表	議会改革推進会議委員長
	6	議会アドバイザーに関する打ち合わせ	議会アドバイザー委嘱に関する事務打ち合わせ	議長、議会改革推進会議 委員長、両常任委員長、議会 事務局長、日本生産性本部
	6	議会勉強会	議会としての政策作りに関する事例紹介	日本生産性本部
	7	議会改革推進会議勉強会	議員報酬・定数・政務活動費について	全議員
	8	議会改革推進会議	議会と町民との意見交換会(両分科会) 議会改革推進会議(振り返りと今後の進め方について)	佐藤教授
	12	議会改革推進会議、所管事務調査報告	議会改革推進会議の報告、所管事務調査の報告会	全議員
6年	3	地方議会成熟度評価モデル結果確認	地方議会成熟度評価モデルの結果確認	全議員、日本生産性本部
	4	議会改革に関する打ち合わせ	改選に向けた引き継ぎ事項の整理について	佐藤教授、日本生産性本部、議会改革 推進会議委員長、両常任委員長
	5	議会改革推進会議	改選に向けた引き継ぎ事項の検討・確認	議会改革推進会議委員
	5	全員協議会	改選に向けた引き継ぎ事項の確認	全議員
	6	政策提言書の採択	農林課との協議および分科会での採択	経済建設委員会
	6	政策提言書の採択	分科会による最終確認および採択	総務文教分科会
	6	政策提言書の提出・決議	6月議会での提出と決議	全議員

今後の議会改革

議会評価モデルから始まった議会改革において、住民意見を起点とした地域課題を政策提言に繋げる政策サイクルの構築を意識した取り組みを進めてきました。この取り組みを継続的に推進していくために以下の体制で各項目について取り組みます。

議会改革推進会議





手ぶら登園について

町長／保護者の皆様の意向を確認したうえで、実施するか決定する

田尻 博樹 議員



動画配信はこちら

【問】こども園に登園する園児の保護者は、家事・育児・仕事に加え毎朝の登園準備に大変な思いをしていると思われる。そこで保護者、保育士、行政、3者での話し合いを行い「手ぶら登園」を推奨し、保護者の負担を少しでも軽減できないか伺う。

【答／町長】手ぶら登園を利用すると、月々定額制でオムツが直接施設に届くため、園児が利用するオムツの名前書きが不要になり、家庭での準備時間の短縮や登園時の荷物が減ることにより保護者の負担が軽減されるというメリットがあります。その一方で、保育料に加えて、月々の支払いが発生することや、オムツの種類が限られること、園を休んだとしても同じように支払いが発生するというデメリットもあります。そのため、本サービスを導入するかについては、来年度に保護者の皆様のご意向を確認したうえでその結果を基に実施するかどうかを決定したいと考えています。

【問】年度末に近づくにつれ待機児童がいると聞くと、現在待機児童がいるのか伺う。

【答／町長】待機児童は令和3年度が1名、4年度、5年度はいませんでした。今年度も12月現在で待機児童はいません。

町道側溝整備について

【問】知名生活館前からC団地北側のT字路までは側溝が未整備のため令和5年9月25日付で側溝整備に関する要望書が町に提出されている。字民からも1日も早い対応が求められているが、進捗状況はどのようなになっているか伺う。

【答／町長】今回の大雨により、道路の冠水が発生し、町民の皆様にはご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。当面の間は、北側山林に沈砂池を造成及び、道路表面水を沈砂池へ流入させるため横断側溝を設置する計画としております。

農業振興地域及び農用地区域内の町道整備について

【問】農業振興地域内の舗装は行われているのか伺う。

【答／町長】農業振興地域内の町道については、路盤材の補充などによる補修を行っておりますが、路盤材



C団地北側T字路

農業振興について

【問】先月11月に発生した豪雨による農作物への被害状況、及び被害を受けた農家への支援等は検討しているのか伺う。

【答／町長】今回の大雨による農作物被害につきましては、定植後のばれいしょにおいて、種芋の露出および流失が認められ、被害額については推計値ですが約1,000万円程度と見込んでおります。



11月の豪雨災害で被害を受けた農家支援対策を 町長／収入保険制度や共済制度に加入を推進

西 文男 議員



動画配信はこちら

【問】11月大雨警報の月間雨量、1日間の最大雨量はどれ位だったか伺う。

【答／町長】 知名町役場で月間雨量433.5mm。1日最大雨量は11月10日に124mmでした。

豪雨災害の支援対策について

【問】今回の大雨警報による大雨で農業関係、耕地関係の被害額はどれ位か伺う。

【答／町長】 定植後のばれいしょにおいて、種芋の露出や流失で約1,000万円程度、農地、農道、法面復旧等の雨水の排水対策費等で230万円程度。



大雨による法面被害

【問】今回の大雨による被害を受けた農家、公共工事施工中の道路等の侵食を受けた場所での補修費等についての町の支援対策は。

【答／町長】 農業者の収入減少を補填する収入保険制度や共済制度が整備されており適切な制度への加入を推進している。天災等の災害は受注者が請求できるよう定めています。今後協議があれば対応したいと考えている。

【再質問】 今回の災害を激甚災害の指定を受ければ補助率の高い支援を受けられると思うが。

【答／町長】 今回の災害は国の定める激甚災害の対象とはなりません。



ばれいしょ畑被害状況

【問】国や県に対し、大雨による作物などの被害状況を共有し、農家支援対策について要請を行っているか伺う。

【答／町長】 現地被害調査に加え、町民への聞き取り調査を行い被害の把握に努めています。またJA鹿児島経済連からJA知名事業本部に対し、ばれいしょ種子3トンが半額で提供されると伺っている。

堆肥センターについて

【問】本町農業生産振興計画書に地力の維持・増進と土壌浄化による生産安定に努めると書いてある。そのために堆肥センターが必要だと思うが、町の見解を伺う。

【答／町長】 本町の土壌は土壌有機物が乏しく、多雨期には加湿となり、乾燥すると亀裂が生じ干害を受けやすく、作物の生産性を低下させている。土壌を改善するため、製糖工場より排出されているハカマと牛糞を混合し堆肥を生産している。

【再質問】 県道、町道、農道の両側

の維持管理作業で出た雑木、雑草、生ごみ等も十分牛糞等に混合し堆肥になります。町内の廃棄物等を有効利用し循環型社会を構築するためにも堆肥センターが必要だと思うが。

【答／農林課長】 必要に応じて総合的に判断して検討していきたいと思っています。

土壌診断について

【問】町は土壌診断を実施しているが、PH以外にどのような項目があるか伺う。

【答／町長】 土壌の性質を把握するため、EC、石灰等7項目の診断が可能で、これらの診断結果を分析して、適切な土壌改良や施肥を行うことができます。

【再質問】 土壌の中に含まれる微生物は土壌で必要だと思うが、検査は行われているか伺う。

【答／農林課長】 土壌中の微生物検査は費用が高いため行っていない。



ゴミの減量化対策について

段ボールの収集方法と
リサイクル状況について伺う

長山 美香 議員



動画配信はこちら

町長／クリーンセンターへの直接持ち込みはリサイクルへ
指定袋に入れて収集所に出されたものは焼却

【問】乾電池の収集方法は

【答／町長】燃えないゴミの日に収集、クリーンセンターにて分別後リサイクルへ。

【再質問】最終処分場にて多くの乾電池を見た。クリーンセンターでの完全分別が難しいのであれば、燃えないゴミに出すのではなく、乾電池のみの収集を行なっているかどうか。

【提案】各集落の公民館などを利用し、段ボールと乾電池の収集場とすることで、回収率の向上につながるのではないか。

【答／保健福祉課長】モラルの問題で分別の徹底が難しい。分別については町民と関係機関、和泊町とも協議していく必要がある。

【問】樹木や雑草等の処理方法について伺う。

【答／町長】枯らしてから、樹木は五〇センチメートル以内に切って燃えるゴミとして持ち込みをお願いしている。

【再質問】乾燥や切る作業が大変。字の奉仕作業等で出た樹木の処理に

困っているという声や山に不法投棄されているという声もある。与論町のように無料で木々を引き取り、チップ、堆肥化する施設はできないか。

【答／町長】費用対効果等も考え、より良い方法を思案中。もう少し待っていただきたい。

ごみの減量化を進めるにあたっては、分別の方法や現在の指定ゴミ袋一択の回収方法の在り方についても検討が必要であり、町民と共に考える場、勉強する場を設けて頂きたい。

ポイ捨ての対策について

【問】空き缶等ポイ捨て防止条例は町民にどの程度認識されていると思うか。

【答／町長】認識度等の調査は行なっていないため不明。町民にポイ捨て防止を身近な問題と捉えていただけるように啓発活動を行なっていく必要がある。

道路へのポイ捨ての状況



人手不足解消について

【問】高齢化と生産年齢人口減少のため商工業や農業においては、担い手不足だけでなく人材も不足しているが町としてどのような対策を行なっているか。

【答／町長】えらぶ島づくり事業協同組合にて、マルチワーク型の労働派遣事業で令和4年度派遣職員6名を町内3つの組合員事業者へ、5年度は派遣職員11名を4つの組合員事業者に派遣。有料職業紹介については、町内に令和4年度2件、5年度4件成立している。一般社団法人ツギノバのふるさとワーキングホリ

不祥事のその後について

【問】9月定例会において刑事告訴までにはしばらく時間がかかるとのことだったが、その後の状況について伺う。

【答／町長】刑事告訴には至っていない。多くの町民が関心を持っていることは承知しているが大きな進展がなく対外的に知らせる状況になかった。現在弁護士が告訴状の完成に向けた作業を進めている。告訴状が完成し、受理された段階で経緯等について示す予定。

人材不足は島内だけでは解決できない問題となってきた。商工会など関係機関と連携し、進めたい。



屋子母字の排水対策は

町長／「緊急自然災害防止対策事業」により浸透池設置を計画

窪田 仁 議員



動画配信はこちら

道路整備について

【問①】屋子母字は、集落内に流れ込む濁流で甚大な災害を受けています。排水対策について。

【答／町長】「緊急自然災害防止対策事業」で浸透池設置を計画しており令和7年度工事予定。



屋子母字の豪雨災害

【問②】町道下平川平川線の知名東循環（ハチマキ線）の東側は、道路の凹凸が激しい。整備状況は。

【答／町長】路面の亀裂や凹凸が全体的に確認された為、全面的な舗装修繕工事を行う必要があると判断。来年度当初予算に計上する予定としております。

【問③】町道の整備交付金を集落に活用できる体制はできないか。

【答／町長】要望があった箇所については評価判定を行い優先順位をつけて事業化を検討している。

畜産振興について

【問①】牛肉の消費拡大を図るために月2回程度、沖永良部産牛肉を給食に提供できないか伺う。

【答／町長】給食による沖永良部産牛肉の使用は、令和4年1月、令和6年の2月、4月、5月の合計4回提供しています。令和7年度から「ふるさと町づくり基金」を活用して食育を目的に、保育施設及び小・中学校の給食へ提供をしていく予定としています。

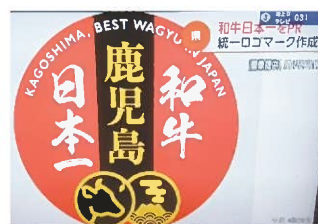
【問②】畜産農家の確保・育成に向けた具体的な対策について。

【答／町長】増体や血統の良い子牛を作ること、市場価値を高めていくことが重要である。自ずと畜産農家の確保につながります。本町の子牛の魅力向上に関係機関及び生産者を取り組んでまいります。

【問③】畜産農家を増やすために、島内外からの受け入れ態勢は。

【答／町長】畜産農家の新規就農者は、畜産農家の後継者がほとんどで

あり、後継者の確保・育成が重要であると認識しています。島内外からの相談があった場合に取組んでまいります。



鹿児島和牛日本一

農業振興について

【問①】令和5年度の農畜産物販売高について、評価と今後の展望について伺う。

【答／町長】さとうきびとばれいしょで約5億7千万円で45億円となり、パランスの取れた農業を推進しております。

【問②】農畜産物販売高の算出方法について。

【答／町長】各作物の生産額を実績値及び推計値を用いて集計して報告しております。

【問③】輸送コスト支援事業の補助金について、毎月4月と10月に確実に交付できないか伺う。

【答／町長】県からの補助金交付決

文化財振興について

【問①】屋者琉球式墳墓・アーニマガヤトゥール墓・屋子母セージマ古墳・新城花窪ニヤート墓を隣町と連携し、トゥール墓群の国指定文化遺産に向けた事業の進捗状況は。

【答／教育長】令和8年度の国指定史跡に向けて総括報告書を両町と作成中で3月末の刊行を予定。来年度には文化庁への意見具申が控えているので、具申資料の作成・準備等も合わせて取り組んでおります。

【問②】トゥール墓群の魅力的な構想をどのように描いているのか。

【答／教育長】史跡の価値を損なわないように魅力的な活用につけていきたい。

【問③】集落住民への事業周知は。

【答／教育長】パンフレットを作成・配布する。講座等で地域への周知と本史跡群に対する理解を深めたいと考えております。



新規交流事業の創設を！

町長／今帰仁村との交流事業の充実へ

根釜 昭一郎 議員



動画配信はこちら

島外との交流事業について

【問①】現在、行っている青少年交流事業は？

【答／教育長】青少年育成では、今帰仁村との交流を行っています。本交流は、令和2年1月に今帰仁村と友好都市締結を行いスタートしていますが、コロナ禍によりリモートでの交流を行った時期もありました。令和5年度は、今帰仁村の児童生徒に沖永良部に来島いただき、本年度は、今帰仁村での交流を予定しております。

【問②】新規交流事業は計画しているか？

【答／教育長】青少年育成としては、新規交流は予定しておりませんが、現在行っている今帰仁村との交流を今帰仁村・和泊町と連携しつつ内容の充実を図ってまいりたいと考えております。

【問③】財源は何を活用しているか？

【答／教育長】今年度の今帰仁村交流事業については、ふるさとまちづ

くり基金を活用しております。今後は、奄振を活用した事業創設については、関係課と協議を重ね検討してまいります。



今帰仁村との交流

今後の地域公共交通について

【問①】本町では、いくつかのコース（路線）で実証実験を行ったが、今後の計画は？

【答／町長】今年度、効率的な路線策定業務を鹿児島経済研究所に委託し、来年度以降にも実証実験を実施していく予定です。

利便性はもちろんですが、公共交通を持続していくために循環路線だけにこだわらず、その他のパターンな



EVバス

ども考慮しながら慎重に関係機関と協議を重ねているところです。

【問②】デマンド運行やライドシェアの必要性を感じているが。

【答／町長】デマンド運行に関しては、現在のバス企業団の運行ルートだと公共交通空白地帯に該当しないなど、導入条件が煩雑となっており、利便性の向上の期待がある一方で人材の確保、補助金の要件を満たさなくなる場合がある。

過疎地域のライドシェアについては、利用者が少ないため、収益が上からず赤字運営になるリスクがあり、利用者が安心してサービスを利用できるよう、運転手の身元確認や

運転記録の管理、さらには、GPSによる運行管理システムを導入することが求められる。今後の制度の緩和や補助金等の拡充など様子を見ながら検討してまいります。

集落運営の支援について

【問】今後の集落運営に対するサポートは？

【答／町長】一つは、直接的な支援の提供です。集落住民が自助・共助活動を行う際に直面する課題についての支援や、特に高齢者や障害を持つ住民に対する緊急時の支援体制の強化が挙げられます。二つ目は、コミュニティの再編・強化です。集落内組織や行事の統合や隣接集落同士での協力体制の構築、住民のニーズに応じた柔軟な支援プログラムの提供が挙げられます。三つ目は、外部リソースとの連携です。県や国からの支援を活用しつつ、補完的な町の支援体制の確立、知見を有するNPO等と連携し、地域の問題解決を図ることが挙げられます。



友好都市・今帰仁村と職員交換派遣交流を

高風 勝一郎 議員



動画配信はこちら

町長／職員数不足改善後検討したい

友好都市・沖縄県今帰仁村との取り組みは

【問】本町と今帰仁村は平成元年、平成10年頃盛んに交流があり、その後20年以上交流が途絶えていたが、令和2年1月31日に友好都市締結調印式（和泊町と2町1村）が行われた。協定書では友好な関係を深めるため6つの交流事項を掲げているが、取り組んでいる内容を伺う。

①住民、団体間の相互交流
②青少年の相互交流
③文化・教育・スポーツに関する交流及び連携
④産業振興に関する交流及び連携
⑤災害時の相互交流
⑥その他友好関係発展のための相互交流

【答／町長】①は町で把握できていない。②はコロナ禍時に児童生徒でリモート交流を行った。5年度は沖永良部に来島し、今年度は今帰仁村で交流予定である。③の文化では、児童生徒のリモート交流でお互いの文化、特産品等を紹介し、5年度来島時はヤッコ踊りを体験していただいた。④



今帰仁村で2町1村の友好都市が締結された

は知名町知産知消推進協議会で視察研修を企画中、相互交流を深めたい。⑤はお互いがそのような事態に陥った時は協力していきたい。⑥はまだ具体的にこなっておらず、今後和泊町を含め協議の場を設けて進めたい。

【問】本町と今帰仁村と職員交換派遣交流ができないか伺う。

【答／町長】派遣交流は、相互に経験や知識を共有し自治体間の連携を強化する等のメリットがあるが、本町は退職者数に応じた新規採用が追いつかず職員の余裕がない状況にある。それが改善されたら検討したい。

沖永良部音楽コンクールについて

【問】昭和60年3月に第1回が開催され今年40年目、またコンクールが行われるきっかけとなった武田恵喜秀先生提唱の昭和46年「ニューイヤークンサート」から54年目になる。島独自の取り組みとして青少年の音楽発表の機会を提供してきたが終了すること。その経緯を伺う。

【答／教育長】昨年度の第40回まで出場者は延べ2,301名。長い歴史と伝統のあるコンクールだが、近年は少子化と価値観の多様化により参加者の減少に歯止めが効かなくなり、審査員の意見も踏まえ熟考した結果、主催者の両町文化協会の意向を尊重し、本年度の沖永良部音楽コンクールは休止することに同意した。今後は児童生徒の日頃の練習の成果発表の場として、形を変えて開催予定である。

【問】ご支援とご努力いただいた審査員や町文化協会、コンクール関係者には、どのような対応を考えているか伺う。

【答／教育長】審査員や音楽教室の講師、関係者等には両町文化協会と協議し、これまでご尽力されたお礼と開催休止の連絡、併せて今年度の音楽発表会の案内をしている。審査員には、昨年度のコンクール時に両町文化協会長の連名で感謝状を贈呈させていただいた。

【問】町として今後、音楽に関する取り組みをどのように進めて行くか伺う。

【答／教育長】年明け1月「みんなで楽しむコンサート2025」と題し、アーティストを招聘し地元の生徒や有志が共演するコンサートや来年度は地域交流プログラム（アウトリーチ）を実施予定である。



多くの音楽家達が集っていったコンクール

令和6年第4回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
承認第11号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約に関する専決処分について	承認
議案第62号	知名町企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
議案第63号	知名町アグロラスト基金条例の制定について	原案可決
議案第64号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第65号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
承認第12号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和6年度知名町一般会計補正予算（第4号）について	承認
議案第66号	令和6年度知名町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第67号	令和6年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第68号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第69号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	原案可決
議案第70号	知名町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	知名町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	権利の放棄について	原案可決
議案第73号	事務の委託に関する和泊町との協議について	原案可決
請願第1号	知名町民の命と安心を確保するために血液供給体制の枠組みの変革を求める意見書採択の請願について	採択
発委第3号	知名町民の命と安心を確保するために血液供給体制の枠組みの変革を求める意見書について	原案可決
発議第6号	議員派遣の件について	決定
発議第7号	知名町議会会議規則の一部を改正する規則について	決定
発議第8号	ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業調査特別委員会の設置について	決定
決定第6号	閉会中の継続調査の件について	決定
決定第7号	閉会中の継続調査の件について	決定

2024
9/25~12/9

諸般の報告

9月

- 25(水) ■ 第3回議会定例会(議会議事堂)
26(木) ■ 第3回議会定例会(議会議事堂)
27(金) ■ 第3回議会定例会(議会議事堂)
28(土) ■ 運動会(各小学校)
30(月) ■ 第3回議会定例会(議会議事堂)

10月

- 4(金) ■ 令和6年度知名町老人クラブ連合会
第49回ゆめときめきスポーツ大会(知名町老人福祉センター)
6(日) ■ 新庁舎落成式典・祝賀会(庁舎・フローラル館)
9(水) ■ 離島議長行政調査(長崎県壱岐市)
令和6年度第2回知名町図書館協議会及び読書活動推進協議会(委員会室)
10(木) ■ 離島議長行政調査(長崎県壱岐市)
11(金) ■ 離島議長行政調査(長崎県壱岐市)
12(土) ■ クルーズ船コーラルジオグラフィ号寄港歓迎セレモニー(伊延港)
13(日) ■ 第59回町民体育大会(知名町総合グラウンド)
15(火) ■ 一般質問勉強会(委員会室)
16(水) ■ 議会改革推進会議(委員会室)
西原町議会議長(町内)
21(月) ■ 沖永良部与論地区広域事務組合議会(与論町)
第1回沖永良部衛生管理組合議会臨時会(沖永良部衛生管理組合)
22(火) ■ 陸上自衛隊奄美警備隊 長谷川隊長(町長室)
25(金) ■ 文化祭(田皆中学校)
27(日) ■ 第44回知名町PTA研究大会
30(水) ■ 令和6年度日本観光鍾乳洞協会総会・サミット(長崎県西海市)

11月

- 1(金) ■ 学校訪問(各小中学校)
全員協議会(委員会室)
2(土) ■ 第34回生涯学習フェスティバル(あしびの郷ちな・町体)
3(日) ■ 畜産購買者と語る会(えらぶ長浜館)
6(水) ■ 常任委員長研修会(ホテルウェルビュー鹿児島)
7(木) ■ 第32回奄美群島農業祭(奄美市)
議会広報研修会(自治会館ホール)
9(土) ■ 住吉小学校地域合同学習発表会(住吉小学校)
10(日) ■ 第5回おきのえらぶ発
島暮らしデザインフォーラム(フローラル館)
13(水) ■ 第68回町村議会議長全国大会(NHKホール)
第2回上下水道事業運営委員会(大会議室)
22(金) ■ 奄美大島法人会知名支部総会(フローラル館)
29(金) ■ 戦没者追悼式(フローラル館)

12月

- 1(日) ■ 医療法人金連会本部医院開院50周年 社会福祉法人ともお会特別
養護老人ホームさくら園創立30周年記念祝賀会(フローラル館)
2(月) ■ 議会運営委員会、全員協議会(委員会室)
3(火) ■ 大島郡町村議会議長会、奄美群島広域事務組合議会定例会、
奄美群島選出県議会議員意見交換会(市民文化交流センター)
7(土) ■ 第2次沖永良部島観光基本計画策定協議会(エラブコ)
8(日) ■ 消防団忘年会(若大将)
知名町商工会忘年会(フローラル館)

〈お詫び〉

前号の福井源乃介議員の議長退任の挨拶の中で、気運の醸成とあるのは、
気運の醸成(じょうせい)の間違いでした。訂正します。誠に申し訳あり
ません。

議会報編集委員会